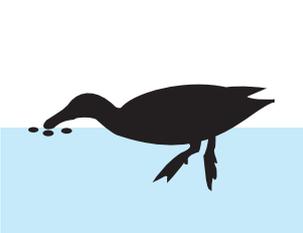
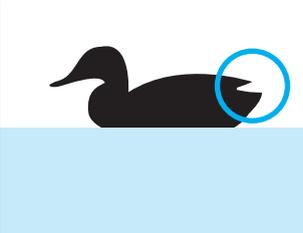
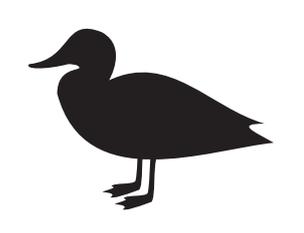
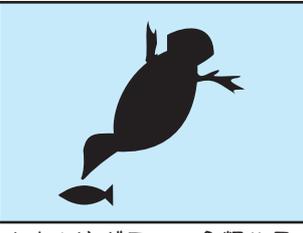
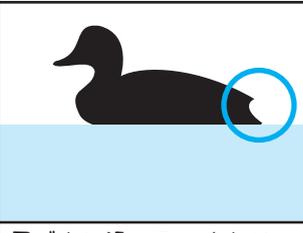
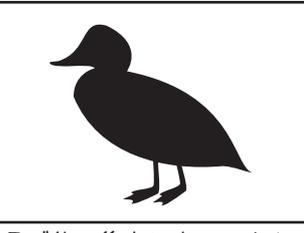
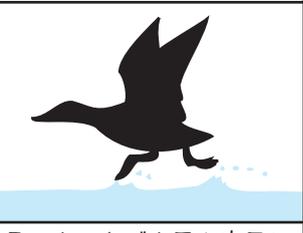


カモとはカモ科の鳥のうち、ガン・ハクチョウ類以外の総称です。日本ではカルガモなどが通年生息し、河川や湖などでみることができますが、カモの多くは冬鳥であるため、冬季に多くの種類がみられます。

## カモの仲間分け

裏磐梯の湖沼群のなかでも、結氷しないところでは、カモ類などの多くの水鳥を観察することができます。裏磐梯では14種類のカモが確認された記録があります。カモはエサの取り方などで、水面採食のカモ類と潜水採食のカモ類に分けることができます。

### カモのココに注目！

	採食のしかた	水面での様子	陸上での様子	飛び立ち方
水面採食のカモ類	 <p>くちばしを水面につけて、水面に浮いた種子などを食べる。逆立ちをして、水底にたまった種子や水草を食べるものもある。</p>	 <p>尾が水面の上にある。</p>	 <p>足が体の中央よりやや後方にあり、陸上を歩いて草類を食べることができる。</p>	 <p>足の水かきで水面をけり、翼で水面を強くたたいて、いきなり飛び立つ。</p>
潜水採食のカモ類	 <p>水中を泳ぎ回って魚類や甲殻類、貝類、海藻類などを食べる。</p>	 <p>尾が水に浸かる。または、水面のぎりぎりにある。</p>	 <p>足が体の後方にあり、水をけるには便利になっているが、陸地では体が直立してしまう。</p>	 <p>足の水かきで水面を交互にけりながら走って、助走をつけて飛び立つ。</p>

水面採食のカモ類



オシドリ



カルガモ

など

潜水採食のカモ類



キンクロハジロ



ミコアイサ

など

## 身近なカモ

ことわざに使われたり、食料になったりと人間に身近なカモですが、普段じっくり観察する機会は少ないかもしれません。カモの様々な生活の様子を観察すると、それぞれのちがいがわかり面白いカモ！この冬はじっくりカモを観察してみたいかたがいませんか？